

(別紙)

## 「ねむの木賞」及び「高木賞」の概要

### ○「ねむの木賞」

皇后陛下が「ねむの木の子守歌」を御作詞されたのは、聖心女学院高等科時代のことです。

その当時、詩や歌を交換されていた友人の一人が、ご結婚後の昭和40年になって雑誌に発表され、これを読んだ作曲家・山本直純氏夫人の正美氏が清純な詩に感動して作曲、礼宮（現・秋篠宮殿下）さまのご誕生を祝福して皇后陛下に献上されたものです。

皇后陛下はその歌詞著作権を、肢体不自由児事業振興のために本会に下賜されました。

本会はこの著作権料を基金として昭和42年に「ねむの木賞」を設け、肢体不自由児施設等において、永年肢体不自由児の日常生活業務に携わり、優秀な成績をおさめている女性に本賞を授与しています。

### ○「高木賞」

日本で初めて肢体不自由児療育の体系を立て、これらの分野で偉大な貢献をされた故高木憲次博士の御遺徳を永く記念するため、昭和42年に「高木賞」を設け、肢体不自由・者療育の領域において、特に顕著な功績のあった者（団体）または特に療育面での優秀な研究を行った者（団体）に本賞を授与しています。

また、今後、この分野において活躍する関係者を奨励することを目的に「高木奨励賞」を授与しています。